



みかん

病害虫対策で
品質向上を！



果樹林産センター
小杉 真啓

この時期は1年間で最も暑く、ミカンの果汁の蓄積や果実肥大が最も進みます。今月も病害虫防除を行い、高品質果実の安定生産を心掛けましょう。また、体調には充分注意して作業にあたってください。

《着果管理》

樹冠上部摘果や枝別全摘果を行った部分は、取り残した果実があるとせつかくの隔年結果防止効果が低下してしまいます。今月は、目残しが無いように手直し摘果を行い、加えて小玉や裾成り果、外観不良果を摘果します。

《品質向上》

①マルチ被覆

マルチ被覆は、糖度上昇や着色促進、チャノキイロアザミウマの忌避効果が期待できます。

す。園地の状態に合わせて被覆時期や被覆方法を選択しましょう。

②ファイガロン散布

1回目の散布から20日後に2回目の散布を行ってください。樹勢の低下している樹への散布は、控えましょう。

・ファイガロン乳剤(2回目)
満開後90日(早生80日)
3000倍

③かん水

夏季の雨量が少ない場合、減酸の遅れが心配されます。朝方になっても葉が巻いている時は、過乾燥なので、3〜5t/10aを目安に夕方にか

方法	被覆時期	目的	条件	備考
全面マルチ	8月上旬～中旬	着色促進 糖度向上	耕土が深く根群分布が広い園地	乾燥しやすい園地では横径4cm時に実施
部分マルチ	8月下旬～9月上旬	着色促進	耕土が浅く乾燥しやすい園地	

ん水を行ってください。

《着病害虫防除》

7月に引き続き、果皮強化を目的にバイカルティ1000倍を混用散布します。

8月上旬

- 黒点病
- エムダイファー水和剤 600倍(60日ー2回)
- チャノキイロアザミウマ・ミカンサビダニ アグリメック 2000倍(7日ー3回)
- カイガラムシ類
- スプラサイド乳剤 1500倍(14日ー4回)

※黒点病の対策として、アピオンEをあらかじめ水で薄めてよくかき混ぜてから1000倍にして加用してください。